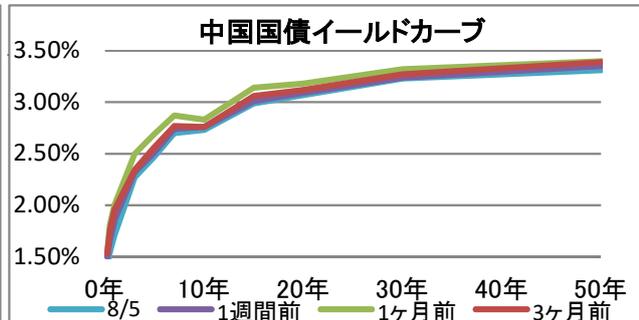
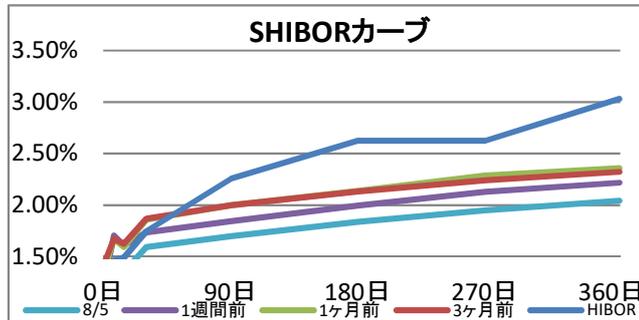


基準レート		2022/8/5	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7405	-0.0032
	JPY/CNY	5.0773	+0.0619
SHIBOR	3M	1.6990%	-0.1470%
国債利回り	10年	2.73%	-0.03%
上海総合指数		3,227.03	-26.21



(1) 概況

国際金融市場では、米国の金融政策を占う雇用統計を週末に控える中、BOEの利上げや米中関係悪化等による世経経済の先行き懸念から景気減速と金融引締め鈍化を織り込む展開となっていたものの、米雇用統計が予想を上回る結果だったことから、債券市場は下落（利回り上昇）したものの、株式市場は景気減速懸念の後退により下落を免れている。外為市場の値動きは限定的。

中国金融市場では、中国人民銀行の貸出金利低下誘導方針を確認すると、短期金利は一段と低下し、債券利回りも短期を中心に一段と低下。株式市場は米中関係悪化懸念から上値の重い展開となり、週後半に半導体支援等の政策への期待から買戻しが入ったものの、前週末比では続落となった。外為市場でも人民元は売られやすい状況が続いたものの、米雇用統計を控えて6.75を挟んだ値動きに終始。国際金融協会（IIF）は、中国資本市場（7月）の国外投資家動向について、債券市場から6ヶ月連続で、株式市場からは4ヶ月ぶりに資金流出となっている旨を伝えている。

中国では、下半期について、国家発展改革委が防疫と安定した経済発展の両立や改革開放方針を確認し、中国人民銀行が貸出増加（インフラ建設、中小企業等）と金利低下の誘導や金融市場改革を含む施策を発表し、証監会はトップの寄稿文で中国資本市場の安定的発展による実体経済への貢献の重要性を強調し、財務部は国有金融企業の財務管理強化に関する通知を配布している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日160億元に対し、新規リバースオペ100億元を実施し、ネットで60億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・財新PMI（7月）は、製造業が50.4（6月、51.7）に大幅に低下したこと、サービス業が55.5（同、54.5）と15ヶ月ぶりの高水準に上昇したものの、総合では54.0（同55.3）に低下した。製造業では生産、受注、雇用ともに低下し、サービス業でも雇用の減少が続いている。
- ・貿易収支（7月、ドルベース）は、輸出が前年比+18.0%（6月、同+17.9%）、輸入が同+2.3%（同+1.0%）となり、貿易収支は6月に記録した過去最高を更新。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.0190%	1.2500%	1.0500%	
1W	1.3840%	1.5800%	1.7500%	
2W	1.3510%	1.3500%	1.6000%	1.1500%
1M	1.5940%	1.9000%	6.0000%	1.2000%
3M	1.6990%	5.0200%	2.0000%	1.5100%
6M	1.8380%	1.8500%		1.7100%
9M	1.9500%	2.5800%	1.9000%	1.8500%
12M	2.0430%	3.6000%		1.9300%

足元資金の金利水準低下が続く中、中国人民銀行が下期業務会議で貸出金利低下誘導を示したことや不動産業界支援への期待により、市場参加者の将来の資金需給安定に対する期待が更に高まり、金利水準は一段と低下。ただし、ターム物は1ヶ月の1.6%前後での出会いを除き限定的。

NCDも、運用側の積極投資姿勢が目立ち、金利水準は一段と低下し、ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.2%前後、3ヶ月は1.5%前後、6ヶ月は1.7%台前半、1年は1.9%台半ばで取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	2.25%	2.27%
1W	2.30%	2.35%
1M	2.45%	2.55%
3M	2.80%	3.00%
6M	3.10%	3.30%
12M	3.50%	3.70%

雇用統計を控えて短期の調整が中心の展開。ターム物は1ヶ月の2.5%前後での出会いを除き限定的。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.42%		1.59%	1.64%	1.81%
6M	1.55%		1.69%	1.83%	2.01%
1Y	1.71%	1.86%	1.94%	2.02%	2.25%
3Y	2.27%	2.48%	2.31%	2.60%	2.96%
5Y	2.47%	2.67%	2.89%	2.96%	3.65%
10Y	2.73%	2.96%	3.39%	3.54%	4.31%

債券市場では、財新PMIの低下に加え、世界的なリセッションリスクを意識した展開となり、足元金利の低下も手伝って短期ゾーンと信用債を中心に利回り水準が一段と低下する展開となった。10年国債利回りは、金曜日のアジア時間までは中国国債が2.73%（前週末比-0.03%）に低下したものの米国債利回りを上回る状況が続いていたが、米雇用統計後に米国債利回りが中国国債を上回る2.83%に上昇したことから、中国国債利回りとの差は-11bp（前週+11bp）に逆転している。

イールドカーブは、全体に低下する中で短期債の低下幅が大きい状況が続いており、ブルスティープニングが更に進んだ格好。クレジットスプレッドは金利低下期待の高まりにより利率債利回りが大きく低下したことから、短期で拡大に転じる一方、長期では縮小に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	-15.8 / -15.7
1M	-69.8 / -69.2
3M	-232.0 / -230.0
6M	-479.0 / -474.0
9M	-660.0 / -647.0
12M	-765.0 / -757.0

対ドル基準レートは6.7405と前週末比-32pipsのドル安元高、対円基準レートは5.0773と同+619pipsの円高元安と、対ドルでは週半ばまでは市場でのドル高を映じた設定となっていたものの概ね前週末水準まで戻している。中国国内市場では、弱い中国経済指標や米中関係悪化懸念からドルが底堅く推移し、一時6.78台まで上昇していたものの、米雇用統計を週末に控えていることもあり、週を通して概ね6.75台を挟んだ値動きに終始する展開となった。

先物は、人民元金利の低下によりスワップのマイナス幅が拡大に転じており、1年物は週後半には-700台後半まで拡大している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.64%		1.37%
6M	1.78%	1.82%	1.64%
9M	1.87%	1.96%	1.72%
1Y	1.94%	2.10%	1.76%
3Y	2.25%	2.52%	2.00%
5Y	2.48%	2.86%	
7Y	2.63%	3.05%	
10Y	2.80%	3.23%	

スワップ金利は、債券利回りと短期金利の低下を受けて低下を続けている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、短期金利の低下が続いていることを受けて縮小が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。